

2018 年度事業計画

(1) 会員活動 (★新設)

2018 年度も引き続き、フォーラム・研究会・研究プロジェクトの充実、活性化を目指して活動を実施する。

a. 会員交流

(a) フォーラム

昨年度から引き続き、下記フォーラムを実施する。

- ・CIO エグゼクティブフォーラム(東京 1 グループ)
- ・IT 企業トップフォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT 部門経営フォーラム(東京 5 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT グループ会社経営フォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・グローバルフォーラム(シンガポール 1 グループ)

(b) テーマ研究会

2018 年度は、次の 15 研究会を実施する。

ビジネスデータ研究会、IT インフラ研究会、IT サービスマネジメント研究会、
企業リスクマネジメント研究会、ビジネスプロセス研究会、IT ポートフォリオ研究会、
組織人材育成研究会、組織力強化研究会、サービスデザイン実践研究会、
システム開発保守 QCD 研究会、AI 研究会★、デジタル化研究会、
ダイバーシティ&インクルージョン研究会、クラウド活用研究会★、エコシステム研究会(下期募集予定)

(c) アドバンスト研究会

個別グループでの設立申請を受け、政策企画委員会の審査・承認を経て活動を実施する。

2018 年度は下記 5 研究会を実施する。

情報共有研究会、IT エンジニアの副業・兼業の実践と提言研究会
超スマート社会をリードする実践的 IT 人材の育成研究会、
データエクスペリエンス研究会、プロジェクト健全化研究会

(d) 研究プロジェクト

2018 度は、下記の 4 つの研究プロジェクトを実施する。

ソフトウェアメトリックス 2.0 研究プロジェクト、IT 運用コスト研究プロジェクト、
システム開発高度化研究プロジェクト、未来ビジネスフォーラム

(e) JUAS コミュニティ

既存の研究会・研究プロジェクトの枠にとらわれない活動を「JUAS コミュニティ」として実施する。

2018 年度は下記 2 つのコミュニティを実施する。

- ・ワークスタイル改革コミュニティ
- ・JUAS ITGC(IT Girls Community・女性 IT 技術者コミュニティ)

(f) 会員研究会 (JUAS アカデミー)

IT に関する最新技術、関連施策に加え、業界や市場の動き、海外動向、経営に適用し得る考え方等の時宜に即したテーマを選び、単発の会員限定の研究会として開催していく。

(g) 関西支部

前述の IT 企業トップフォーラム関西、IT 部門経営フォーラム関西、IT グループ会社経営フォーラム関西、PARK(The place of advanced relationship in Kansai ※ミドルマネジメント向け 2 グループ)を引き続き開催し、さらなる活動の充実を目指す。

b. セキュリティセンター

(a) プライバシーマーク審査事業

「JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム」の改正(2017年12月)を受け、会員企業に向けたJUASアカデミー「JIS 改正に伴うプライバシーマーク審査基準の改正について」を複数回開催する。加えて、プライバシーマークに係る相談や情報共有・会員交流会などの各種会員サービスを充実させ、会員企業の個人情報保護体制の強化に貢献することを目指す。

(b) 「認定個人情報保護団体」としての活動実施に向けた登録申請★

2017年度、A・B会員の一部を対象に加入事業者を募り、認定保護団体の登録準備ならびに個人情報保護委員会との事前チェック・調整を実施したが、2018年度は、C会員を含めた全会員を対象に加入事業者を拡大するとともに登録申請を実施し、苦情相談等、実行体制の整備を進める。

(c) 情報セキュリティ推進センター立ち上げ・活動開始★

2018年度は、2017年度に実施したプレ活動をベースに、活動を本格化させていく。特に会員企業の中で、情報セキュリティの強化が必要と考えられる業種を主な対象に、①定期的な情報発信として、情報セキュリティをテーマにしたJUASアカデミーの開催、②情報セキュリティワーキンググループ(WG)の開催、③情報セキュリティ人材育成プログラム(経営トップと専門技術者の間をつなぐ層や新たに情報セキュリティ管理を担当する層を対象とする)を検討・実施する。

(2) 教育研修事業

会員をはじめとした企業の人材育成、さらには組織力強化について、より一層の支援を行っていく。

これまでのオープンセミナーの定期講座、オーダーメイド研修、出版、ラボに加え、各社の人材育成に寄与するような新規テーマでの研修講座を企画、開催し、さらに受講生の拡大を図る。

(3) 普及推進事業

a. JUAS スクエア 2018

2018年9月6日(木)・7日(金)の2日間、ハイアットリージェンシー東京にて、双方向型の情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンスを開催する。開催18回目を迎える今年度は、「未来想創～つながる想い いざ実践～」をメインテーマとし、さらなる内容の充実を目指す。

b. イノベーション経営カレッジ

2018年度も度引き続きイノベーション経営カレッジの活動をプログラム(人材育成)、コミュニティ(同窓会)、ラボ(研究)の3つのカテゴリで実施する。プログラム(人材育成)については、現在実施しているミドルマネジメント層向けのプログラムに加えて、事業創造の実践を支援できるようなプログラムを検討していく。

c. グローバルクリエイティブフォーラム

2018年度はドイツへの視察を検討している。国家機関や現地の日系企業、新規ビジネスを興しているスタートアップ企業等を訪問予定である。

(4) 調査研究

2017年度までの調査研究事業をベースに新規事業を含めて積極的に実施していく。

a. ソフトウェアメトリックス調査

2004年度から継続しているソフトウェア開発生産性に関する品質、価格、工期等のメトリックス調査は、内容を大幅に見直し、2017年度に調査を再開した。ソフトウェアメトリックス2.0研究プロジェクトを引き続き組成しさらなるデータ蓄積、分析を実施していく。また、2015年度より大幅刷新した運用に関するメトリックス調査も引き続き実施する。

b. 攻めの IT 経営評価指標等策定事業

昨年度に引き続き、「攻めの IT 経営」の普及推進に関する事務局業務を受託している。

※経済産業省 平成 30 年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備(第四次産業革命の実現に資するIT 利活用の取組状況調査研究)を受託

(5) 企業 IT 動向調査 (公益目的支出計画実施事業)

企業の IT 投資、IT 導入状況、IT 活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施する。また、ユーザー企業における重要課題を「重点テーマ」と位置づけ、解決に向けた指針を提言することを目的とする。実施に際しては、調査委員会・調査部会を組織し、テーマ選定、調査内容企画、分析、報告書執筆を行う。調査の方法はアンケートとインタビューを併用する予定。

※2012 年度より公益目的支出計画の実施事業として、継続的に行っている。

以上